

各 位

2022年6月6日
イカロス出版株式会社

日本各地の美しい空港風景を収められる撮影ポイントの案内書
『全国空港ウォッチングガイド 改訂版』発売

インプレスグループで航空・鉄道分野のメディア事業を手掛けるイカロス出版株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山手章弘）は、2022年6月6日に『全国空港ウォッチングガイド 改訂版』を発売いたします。本書は『全国空港ウォッチングガイド』（2019年5月発売）の改訂版となります。



現在、日本には100近い空港・飛行場があり、そのうち85空港に定期便（一部不定期便）が就航しています。古くから日本はもとより欧米でも飛来機を撮影・ウォッチングして記録する「スポッティング」は趣味として確立されてきましたが、近年ではデジタル一眼レフの普及も相まって若年層

も含めヒコーキ撮影ファンの層が拡大傾向にあります。

日本はほとんどの空港に展望デッキが設置されているなど撮影環境に恵まれている一方、空港は施設の性格上、セキュリティが厳重で、鉄道のようにどこからでも写真が撮れるわけではありません。

また、展望デッキからでは似たようなアングルの写真しか撮れないため、より美しく迫力があり、また空港ごとの風景的な特徴を強調できるような写真を撮影するには、空港外周の撮影ポイントを熟知する必要があります。

そこで小社では数年に一度、『全国空港ウォッチングガイド』を発行し、全国の空港の撮影ポイント情報を詳しく紹介してきました。今回の改訂版では前回に引き続きフルカラーで作例写真を紹介、撮影ポイントを地図付きでわかりやすく解説するほか、撮影に役立つ航空無線周波数や空港平面図、交通アクセス、就航エアライン・機種などといった最新情報をコンパクトにまとめています。とりわけ初めて訪れる空港では撮影ポイントの勝手がわかりませんが、便数が少ない空港は珍しくなく、“練習”ができるほどのシャッターチャンスに恵まれないこともしばしば。そこで事前に本書を読んでおけば、撮影ポイントの場所はもとより、使用に適したレンズや時間ごとの光線状態、トイレ・自販機の有無といった滞在環境などが把握でき、少ないチャンスをしっかりものにできます。

Wakkanai Airport

稚内空港

名称・通称	稚内空港	標高	点 [N45°24'16"E141°48'08"]
ICAO/IATAコード	RJCW/WKJ	面積	99ha
空港種別	国管理空港	標高	8.0m
設置管理者	国土交通省	運用時間	8:30~18:30
所在地	北海道稚内市	滑走路(方位)	2,200m×45m(08/26)



利尻富士を望む日本最北の空港

全国の定期便就航空港の中で最北に位置するのが稚内空港だ。ANAグループが運航する定期便のほか、観光シーズンにはチャーター便が就航することもある。就航機材は夏季にワイドボディ機が投入されることもあるが、基本的には小型機が中心。空港周辺は草原地帯となっているため、道路から外れると歩きにくくなるので注意が必要だが、西の海上にそびえる利尻富士や正面に広がる宗谷湾など、ダイナミックな自然をアングルに入れて風景的な写真を撮影できる。

空港アクセス

バス	空港～稚内駅前(約30分)等
タクシー	空港～稚内駅前(約25分)等
駐車場	6:00～22:00(無料)



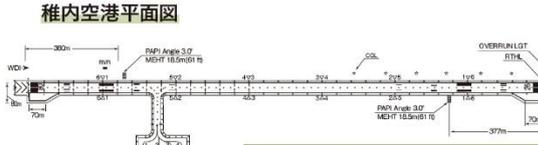
航空管制周波数

飛行場アドバタイザー	118.30 126.20
稚内レディオ	118.30 126.20
航空路管制	132.60 127.50 134.25

エアラインデータ

就航航空会社	国内線 ANA、ANAウィングス
就航路線	国内線 新千歳、羽田
就航機材	ANA・B737-800 ANAウィングス・B737-800, DHC-8-Q400

稚内空港平面図



エプロンエリア情報

中型ジェット用2、小型ジェット用2の計4スポットを設置。スポットナンバーは西側から1〜4番となっており、うち2番入スポットがP/B付。

稚内空港の撮影ポイント

展望デッキ (A)

オープン時間: 9:00~17:00
料金: 無料

ターミナル3階屋上に展望デッキがある。4階には稚内側の展望室があり、ガラス越しにはなるものの宗谷湾を見下ろせるロケーションだ。



外周ポイント

B R/W08エンド。この辺り一番は草原地帯となっており、比較的自由に移動可能。Q400の真横で200m程度あればOK。

C 国道から南側に入ったポイントで、バックに利尻富士を入れて撮影するのに最適な場所。光線状態は午前中の早い時間帯がベスト。Q400のエアボンの縦向きが200m程度。視程が悪いと利尻富士は見えず、冬季は見えない日が多い。開通があったほうがよい。

D R/W08エンドの延長線上にある宗谷ふれあい公園。300~500m程度の望遠レンズがあれば、R/W08の着陸降機を滑走路は正面から、またエアボン後に旋回する機体を撮れる。




展望レンズが必要となるが、滑走路のほぼ正面から観望降機やタクシングの機体などを終めた独特の構図写真が撮影可能。地面に対してやや俯瞰気味に撮れるポジションなので、滑走路面も写る。

各空港の撮影ポイントをカラーの作例写真や地図などでわかりやすく解説するほか、撮影に役立つ航空無線周波数、空港平面図、就航エアライン情報などをわかりやすくまとめています。

多彩な表情をレンズ越しに眺める
**写真で旅する
 ニッポンの空港**

撮影ポイントが豊富にあり、安全にヒコキー写真を撮れる国というのは必ずしも多くない。日本国内には定期便就航空港が80以上も存在し、しかも周辺環境や風景には空港ごとに個性や風情がある。四季の変化を上手く織り込めば、絵作りの幅はさらに広がる。世界的に見てもヒコキー写真趣味の条件に恵まれた日本。各地の、そして季節ごとのエアポートシーンをレンズ越しに楽しみたい。

下地島空港
 2019年に定期便が復活した下地島空港。ヒコキー撮影の聖地には気軽に訪れることのできる身近な観光地に生まれ変わった。



Atsya Fukazawa

四季

季節の移り変わり写真は彩る重要な要素となる。とりわけ自然豊かな地方空港では季節ごとの風景の変化が著しい。ヒコキー写真を撮る際は機体だけでなく、四季折々の風景も取り込んでみたい。

成田空港

春、日本最大級の国際空港はピンク色に包まれ、海外から訪れる多くの観光客が出入りする。老練の多いこの季節には珍しく訪れた観光客が赤や白と鮮やかな黄色の機体が飛び交っていた。

Yusufeld Edge



静岡空港

日本を代表する山といえは富士山を前にしては、愛知に富士山の姿を写す静岡空港からの眺めは絶景のはず。空まで山頂が一望できるように圧巻的な美しさを放つ。

Hidemichi Yamazaki



山

数ある空港風景の中で、その土地らしさを最も表現しやすい演出装置が山であろう。平地に造られるのが理想的な空撮ゆえ、周辺に大きな山がある例は少ないが、それでも日本には背後に奇跡が控える空港風景が珍しくない。

鹿児島空港

青空に消え上がる白い夏雲、しめしめ、機体に入射しているのだから、鹿児島空港らしい魅力があるからだが大前庭の眺めがまた一つとくまらな。

Charlie P. J. 2018



6 | 全国空港ファンディングガイド



富山空港 神通川の河川敷にフラウエイがびるユニックを噴霧で知られる富山空港。風景的には奇麗に見える立山連峰が背景だ。しかし、その景がびっくりと浮かび上がるのはひとと日本、春夕であるが、目にした時の感動はひとしおだ。

10 | 全国空港ファンディングガイド

巻頭のグラビアでは、日本各地の美しい空港風景を全国のカメラマンの力作の数々で紹介しています。治安が良好な日本は、世界的にみても空港周辺での撮影環境に恵まれており、ヒコキー撮影は写真趣味のジャンルの一つとして確立されるに至っています。

●目次

■巻頭グラビア

写真で旅するニッポンの空港

■全国空港マップ

■北海道

稚内空港

利尻空港

旭川空港

紋別空港

女満別空港

中標津空港

釧路空港

帯広空港

新千歳空港

札幌飛行場(丘珠空港)

奥尻空港

函館空港

■東北

青森空港

三沢飛行場

花巻空港

秋田空港

大館能代空港

仙台空港

山形空港

庄内空港

福島空港

■関東

百里飛行場(茨城空港)

成田国際空港

東京国際空港(羽田空港)

調布飛行場

大島空港

新島空港

神津島空港

三宅島空港

八丈島空港

■中部・北陸

新潟空港

富山空港

能登空港

小松飛行場

松本空港

静岡空港

名古屋飛行場(県営名古屋空港)

中部国際空港

■近畿

大阪国際空港(伊丹空港)

関西国際空港

神戸空港

南紀白浜空港

但馬空港

■中国

岡山空港

鳥取空港

美保飛行場(米子空港)

広島空港

出雲空港

隠岐空港

石見空港

岩国飛行場

山口宇部空港

■四国

高松空港

徳島飛行場

松山空港

高知空港

■九州

福岡空港

北九州空港

佐賀空港

長崎空港

壱岐空港

対馬空港

福江空港

熊本空港

天草飛行場

大分空港

宮崎空港

鹿児島空港

種子島空港

屋久島空港

喜界空港

奄美空港

徳之島空港

沖永良部空港

与論空港

■沖縄

那覇空港
栗国空港
久米島空港
北大東空港
南大東空港
宮古空港
多良間空港
下地島空港
新石垣空港
与那国空港

■附録

定期航空会社保有機登録記号一覧

全国主要空港 日出・日没時刻表

●書籍情報

書名:全国空港ウォッチングガイド 改訂版

発行所:イカロス出版株式会社

発売日:2022年6月6日

ISBN:978-4-8022-1153-6

体裁:A5判・308ページ

定価:2,970円(本体2,700円+税10%)

<https://www.ikaros.jp/sales/list.php?srhm=1&tidx=0&Page=1&ID=5227>

【イカロス出版株式会社】 <https://www.ikaros.jp/>

『月刊エアライン』を中心に航空、鉄道、ミタリー、レスキュー分野で出版活動を展開。さらに旅行、通訳・翻訳、ライフスタイルなどの分野でも多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

イカロス出版株式会社 航空旅行編集部

E-mail: koku-ryoko@ikaros.co.jp

URL: <https://www.ikaros.jp/>

※お問合せはEメールにてお願いいたします。